

証券コード：6458（東証1部）

SINKO

中期経営計画「move.2025」 説明会

（2021年4月～2025年3月）

新晃工業株式会社
2021年7月27日

目次

I. 会社概要	P. 2
II. 当社の特徴	P.10
III. 中期経営計画(2021年度－2024年度)	P.21
Appendix. 2021年3月期決算概要	P.41



I. 会社概要

1. 会社概要

会社名	新晃工業株式会社 SINKO INDUSTRIES, LTD.
本社	大阪市北区南森町一丁目4番5号
設立	1950年6月16日
事業内容	冷暖房、温湿度調整、換気装置、冷凍・冷蔵装置用機器の設計、製造、販売、仲介 冷暖房設備工事、空調機器設置工事の請負施工
代表者	代表取締役社長 末永 聡
売上高	39,177百万円 (連結/2021年3月期)
営業利益	6,565百万円 (連結/2021年3月期)
親会社に帰属する 当期純利益	5,021百万円 (連結/2021年3月期)
資本金	5,822百万円 (連結/2021年3月期末)
従業員数	1,442名 (連結/2021年3月期末)
証券コード	6458 東証1部

2. 企業理念

経営理念	豊かな創造力と誇れる品質
ビジョン	顧客に「信頼と満足」を 社会に「信頼と満足」を 普遍的に提供する 社員に「信頼と満足」を
事業領域	快適環境の創造
戦略スタンス	空調機器のトップメーカー

3. 事業内容

- 主に大規模建物に採用される「セントラル空調」の空調機器「AHU（エアハンドリングユニット）」/「FCU（ファンコイルユニット）」の開発・設計・製造・販売・アフターサービス（メンテナンス）

空調システムの 카테고리

家庭用

- 部屋毎にエアコンを設置
- 冷媒ガスを介して空調

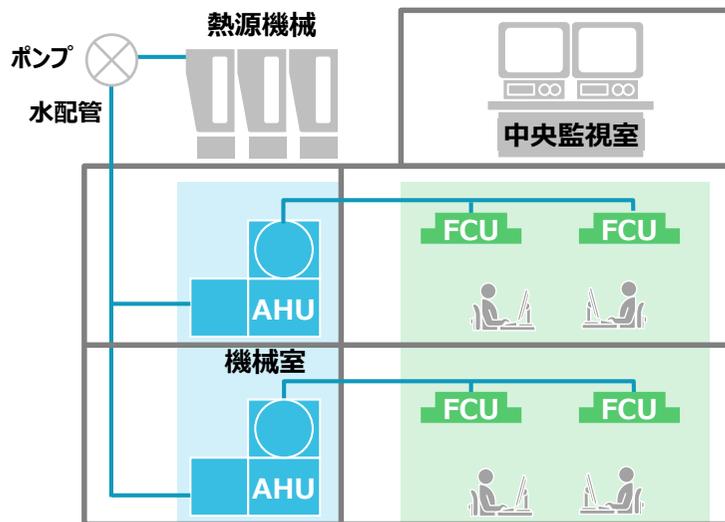
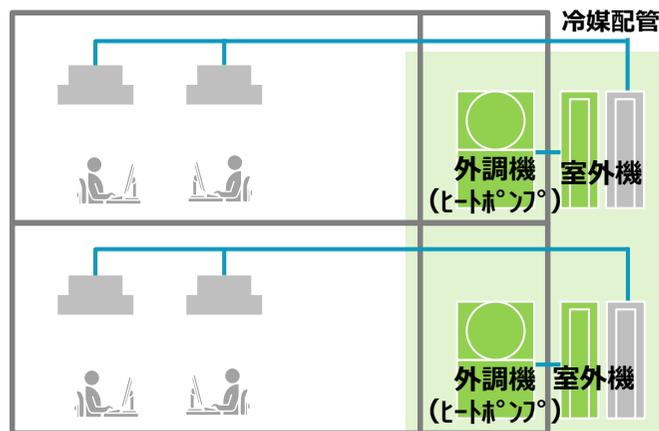
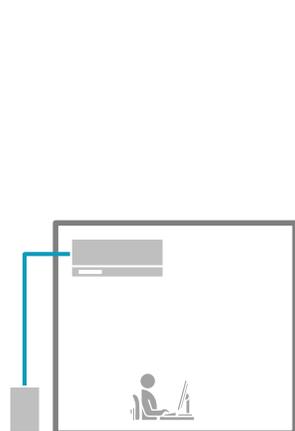
個別空調（個別熱源）

- 部屋・フロア毎に室外機・室内機を設置
- 冷媒ガス（フロンガス）を介して空調

業務用

セントラル空調（中央熱源）

- 建物毎に熱源機器、空調機器（AHU/FCU）を設置
- 冷温水（水）を介して空調



新晃工業の事業領域

SINKO



ヒートポンプAHU



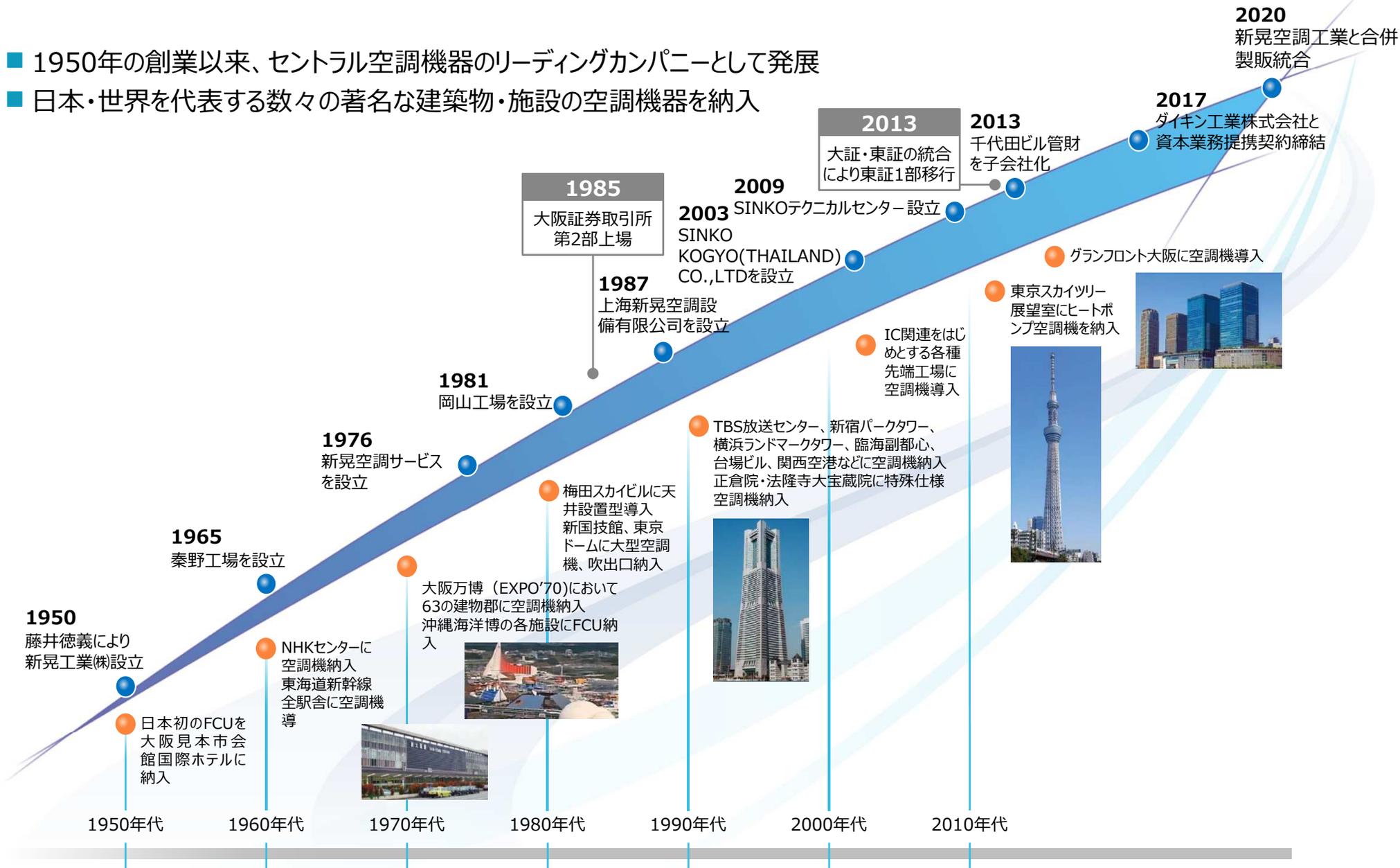
AHU
(エアハンドリングユニット)



FCU
(ファンコイルユニット)

4. 沿革

- 1950年の創業以来、セントラル空調機器のリーディングカンパニーとして発展
- 日本・世界を代表する数々の著名な建築物・施設の空調機器を納入



5. 国内・海外拠点網

- 国内6拠点（本社・支社3拠点、営業所3拠点、工場2拠点）、テクニカルセンター1拠点、ショールーム2拠点、関係会社2社
- 海外現地法人4社

Shanghai SINKO Air Conditioning Equipment Co.,Ltd.

Taiwan SINKO Kogyo Co.,Ltd.

SINKO Air Conditioning (Thailand) Co.,Ltd.

SINKO Air Conditioning (H.K.) Limited

本社



神奈川工場



東京本社



岡山工場



SINKO AIR DESIGN STUDIO



SINKOテクニカルセンター



- 本社
- 支社・営業所
- 国内工場
- ショールーム
- テクニカルセンター
- 国内関連会社
- 海外関連会社

6. 新晃工業グループ概要

新晃工業グループ

新晃工業株式会社
空調機器の開発・設計・販売等

SINKO

国内

空調メンテナンス

新晃アトムス(株)

国内空調機器関連製品等販売

日本ビー・イー・シー(株)

ビル管理・メンテナンス

千代田ビル管財(株)

海外

海外空調機器等製造販売子会社

上海新晃空調設備股份有限公司

海外空調機器等製造販売関連会社

SINKO Air Conditioning
(H.K.) Limited

Taiwan SINKO Kogyo Co.,Ltd.

SINKO Air Conditioning
(Thailand) Co.,Ltd.

7. 事業構成

■ 国内を中心として中国、台湾、タイの生産・販売拠点で展開。海外は中国が最大市場であり、その後は代理店を中心に展開

売上構成 (連結：2021年3月期 391億円)

空調機器製造・販売事業

■ AHU



■ FCU



■ ヒートポンプAHU

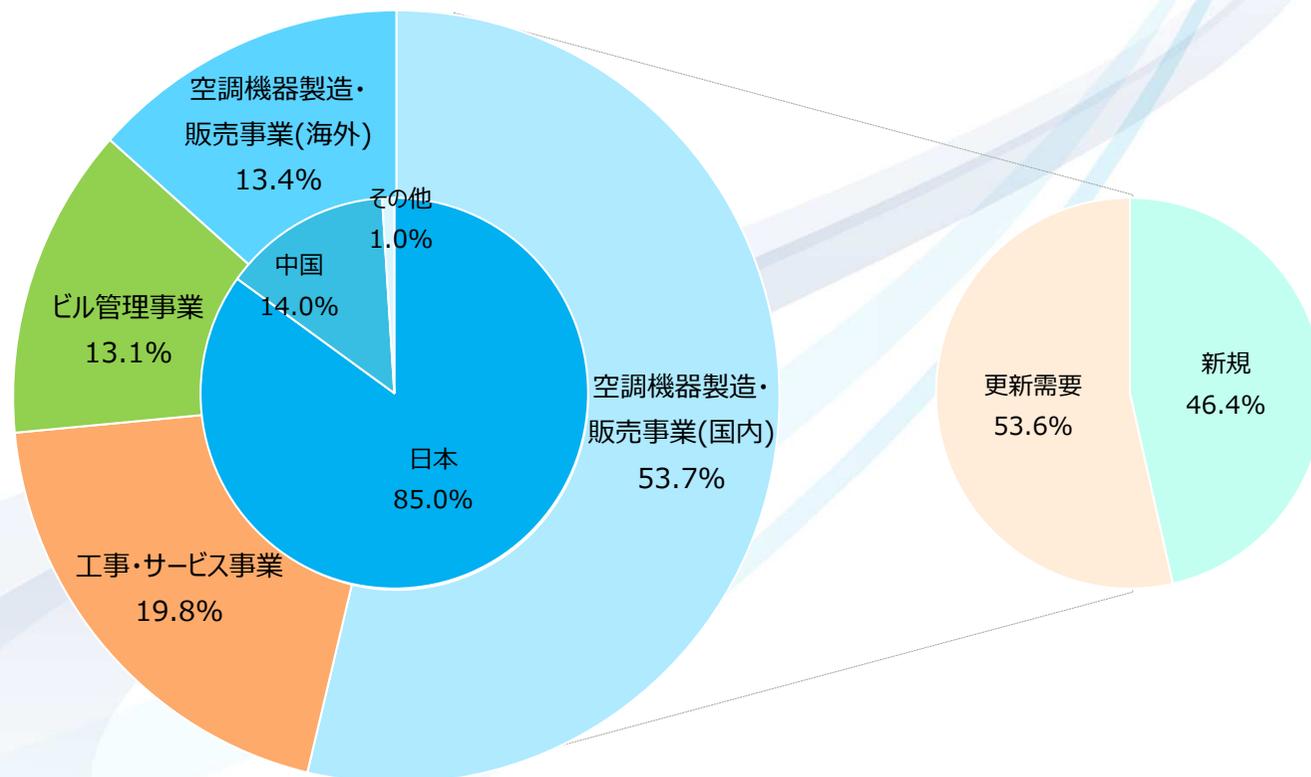


■ 氷蓄熱装置



■ メンテナンス事業

■ ビル管理事業



出所：当社実績

Ⅱ．当社の特徴

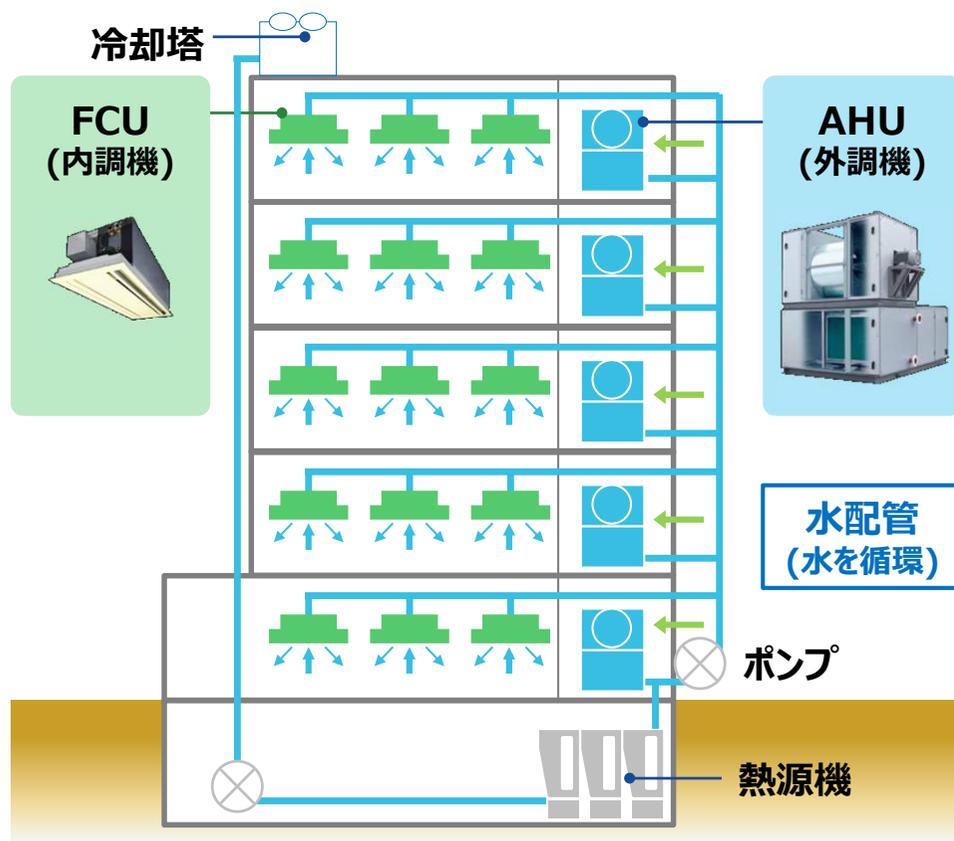


1. 主な事業領域

- 「セントラル空調（中央熱源）」方式で採用される二次側の空調機器が主力

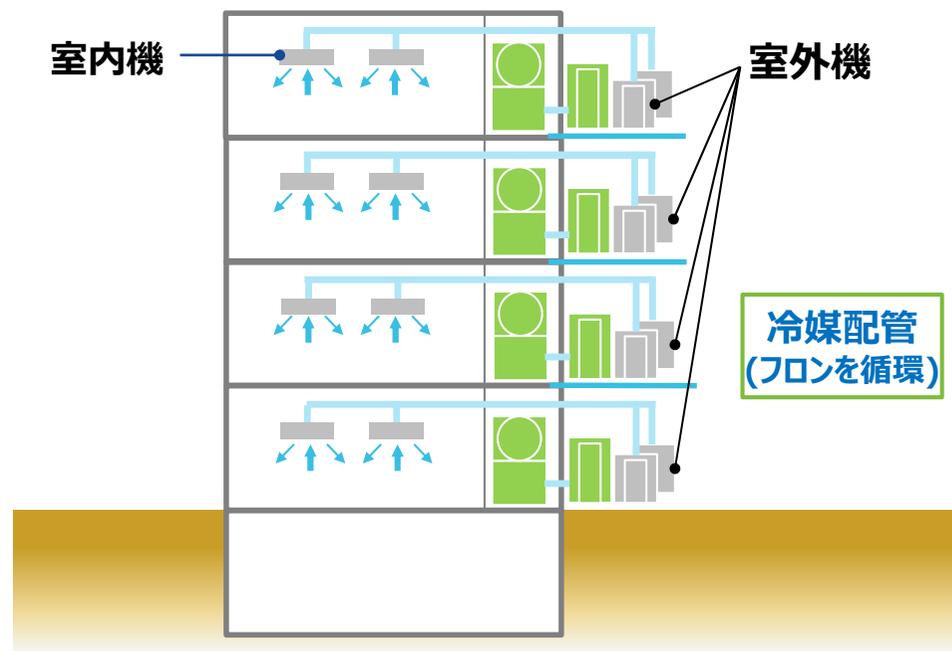
セントラル空調（中央熱源）

- 熱源機器（チラー、ボイラ等）を **1ヶ所に集中設置** する
- 空調機器（AHU・FCU）に熱源で作る **冷温水（水）** を循環させる
- 正しく設計・運用すれば **エネルギー効率に優れ、環境にも優しい**
- **大規模の建物**（延床20,000㎡以上）で採用

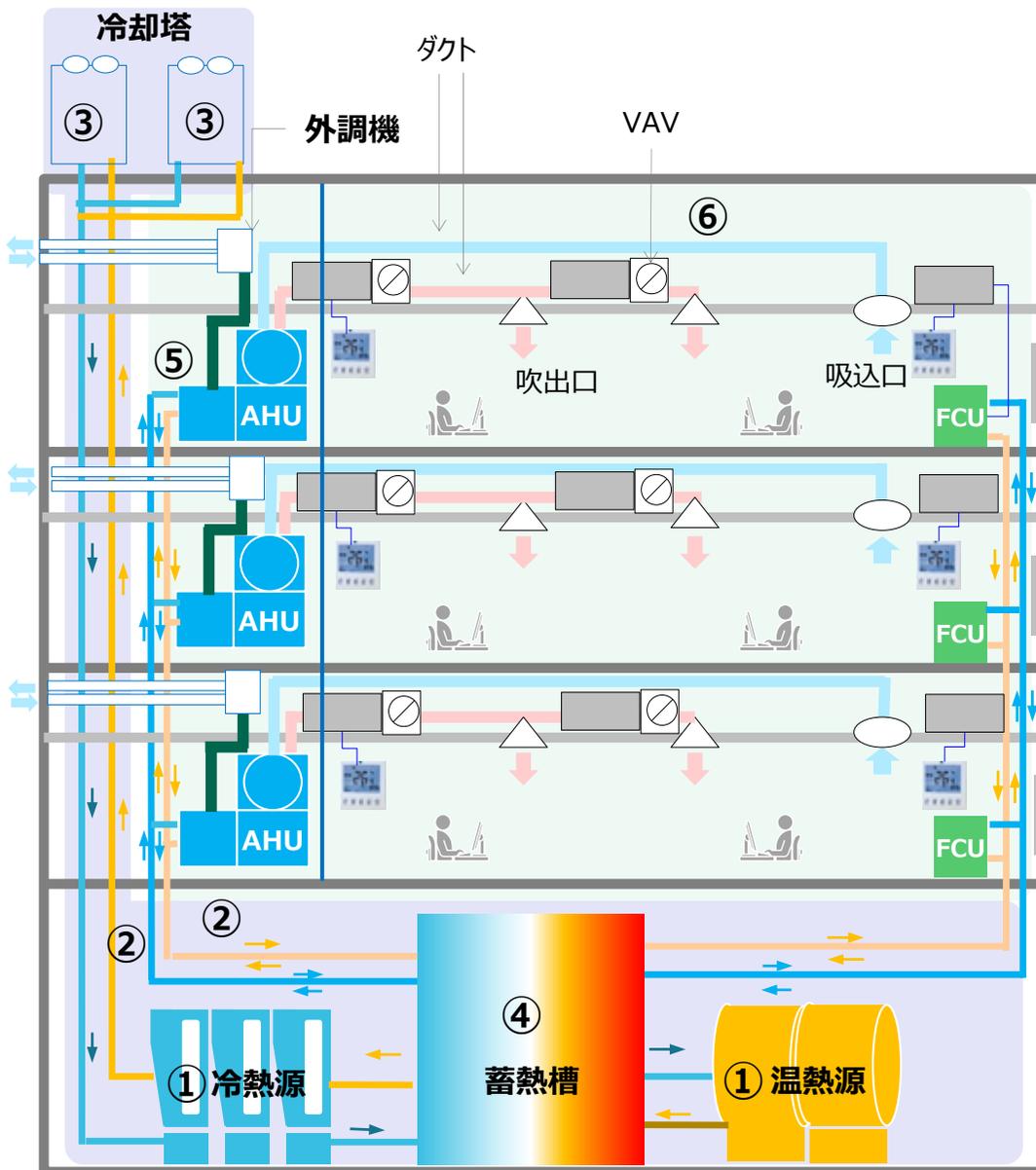


個別空調（個別熱源）

- 空調機器（室外機・室内機セット）を **部屋毎に設置** する
- 空調機器（ビル用マルチエアコン等）に **冷媒ガス（フロン）** を循環させる
- フロンガスを使うが、設計・施工が容易で、**機械室を小さくできる**
- 主に **中小規模の建物**（延床20,000㎡以下）で採用



2. セントラル空調の仕組みとメリット



セントラル空調の仕組み

一次側：熱を造る（※）

- ① 集中設置された熱源機器で冷熱/温熱を生成
- ② 水を媒体にした冷熱/温熱は、ポンプで搬送され、空調に使用
- ③ 冷熱生成時に発生した排熱は、冷却塔から外気に放出
- ④ 蓄熱槽に熱を蓄え、熱の生成と消費の時間をずらすこともある

二次側：熱を使う

- ⑤ 配管を通じて運ばれた冷水/温水が空調機器に供給
- ⑥ 空調機器はファンで風を発生させ、室内を空調

（※）主な熱源機器

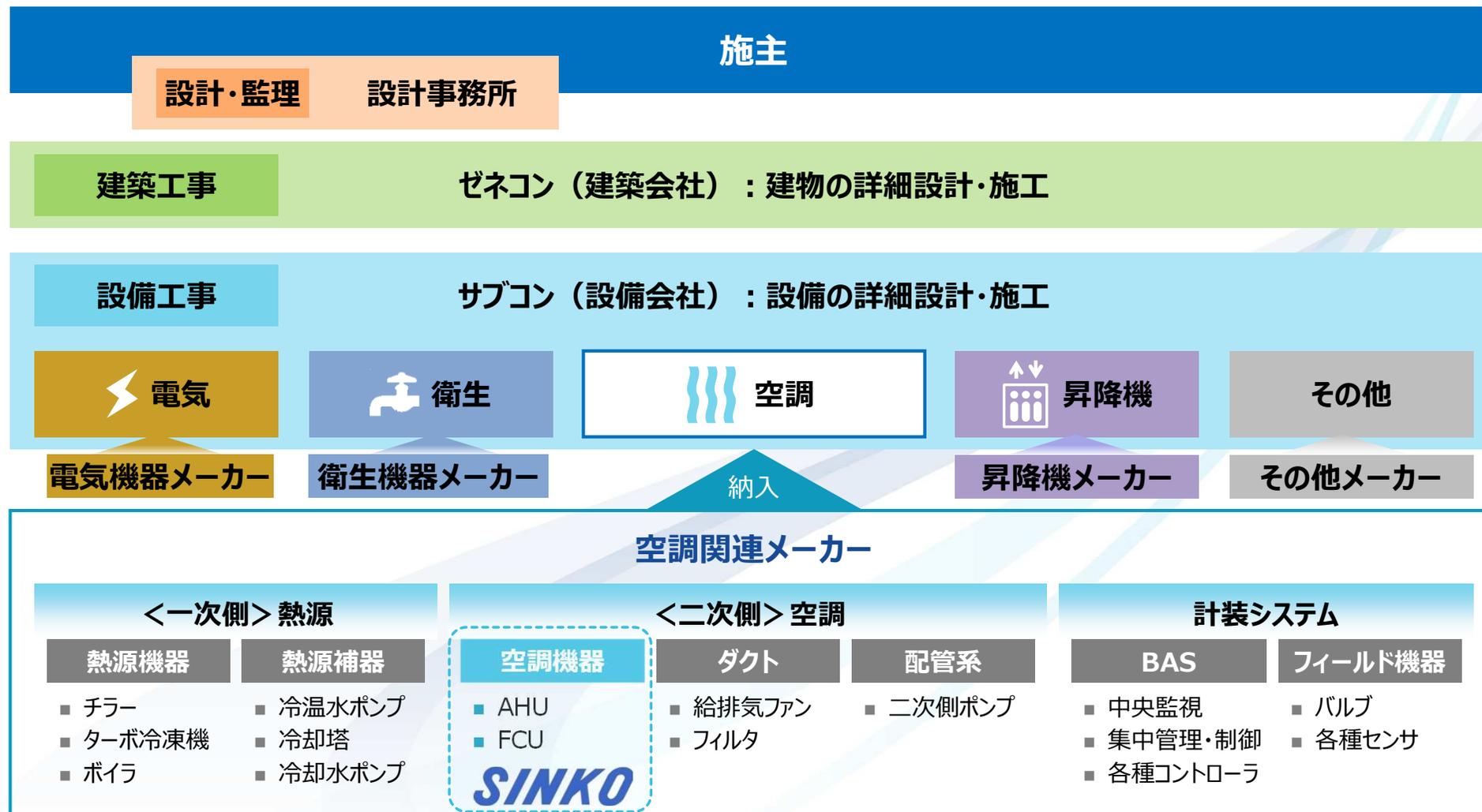
	病院・ホテル等	大規模建物	大規模エリア	中小規模建物
温熱源	ボイラ (油、ガス)	ボイラ (油、ガス)	地域冷暖房	ヒートポンプチラー (電気)
冷熱源	吸収式冷凍機 (油、ガス)	ターボ冷凍機 (電気)		
	+ 冷却塔	+ 蓄熱槽 + 冷却塔		

セントラル空調のメリット

- ✓ 熱搬送に「水」を使用、環境にやさしい（フロンガス未使用）
- ✓ グローバルでは主流の空調方式
- ✓ 高い空調レベルを要求される用途や外気処理で数多くの採用
(冷媒にはできない精密な温度・湿度制御が可能)
- ✓ 熱源をまとめて大型化するため、高効率の運転が可能
- ✓ 設置自由度、設計自由度が高い
- ✓ 機器がまとめて設置されているため、メンテナンス性がよい

3. セントラル空調（国内）の事業構造

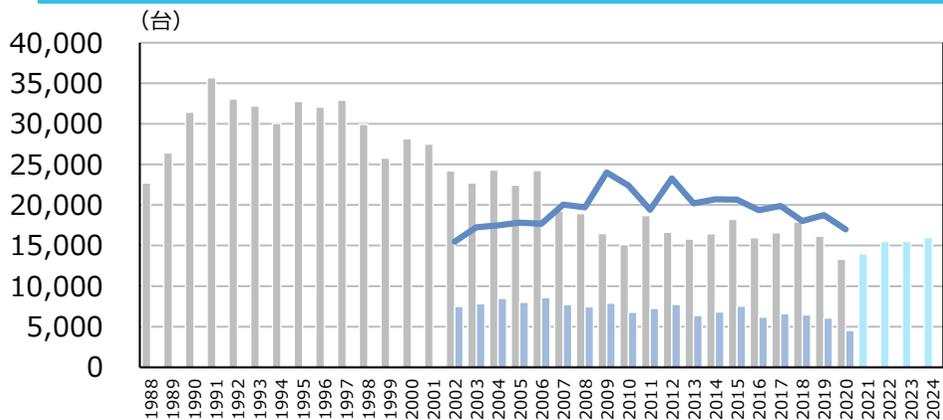
- 「施主」、設計・監理の専門家「設計事務所」、建物全体工事を束ねる「ゼネコン」、設備工事を請ける「サブコン」がプレーヤー
- 空調設備は「熱源」「空調」と全体を監視・制御する「計装システム」で構成される



4. AHUで国内トップシェア

- セントラル空調で採用される大型空調機器「AHU」市場では長年国内トップシェア
- ヒートポンプAHU市場でも国内2番手のシェア

国内AHU市場で一貫してトップシェア



■ 市場 (出所) 各種資料に基づき弊社作成

■ 新晃工業

■ シェア



2019年度国内AHU市場 (約500億円、16,500台)

(出所) 各種資料に基づき新晃工業作成



同ヒートポンプAHU市場 (約115億円、1,850台)



同FCU市場 (約93億円、2,000台)

新晃工業の強み

**開発力、設計力
設計変更への対応力**

AHU生産カトップ

**品質トップ
アフターサービス対応**

案件情報量

業務システム

**現場調整・
生産物流計画**

設計～生産～アフターサービスを含めた柔軟な対応力

5. 施設の特徴・用途に応じた高機能空調を提供

■ 最先端の技術を取り入れ、省エネ、省スペース、省メンテナンス、高効率化を追求した空調を提供

ビル用空調



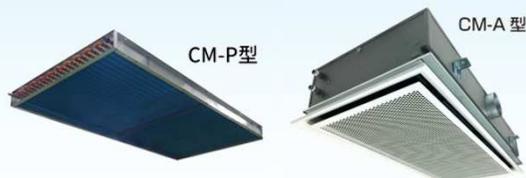
コンパクト空調機AJ-DD型

- 新しい時代の空調性能をコンパクトなボディーに集約
- 高効率なプラグファンを採用したベルトレスの直動運転型コンパクト空調機



コンパクト型デシカント空調機AJ-SD型

- 体感温度と深く関係する室内湿度を温度とは別にコントロール可能



チルドビームCM-P型 CM-A型

- ファンがなく、ドラフトや騒音を低減、体への負担を軽減する空調機

産業用空調



エアワッシャ組込空調機

- 半導体や液晶工場などクリーンルームでは、生産性を高めるために、「清浄度」「ガス状汚染物質の除去」「効率化&省エネ」が不可欠。施設・目的に応じ、スプレー式、滴下式のエアワッシャを装備



産業用低露点除湿空調機SDD型

- 低露点（低湿度）環境が要求される医療品製造工程や冷凍倉庫において、低温の温風で再生できる高分子収着剤を採用。ヒートポンプや工場排熱が利用でき、熱損失も抑制

データセンター用空調



リリーフエア AHU

- 2ファン2モータを搭載することにより、片方のファンモータが停止しても自動的にバックアップ運転が可能



サーバーエアハン

- 増加するデータセンターのサーバーの安定運用を支える

抗菌・抗ウイルス対策



健康空調

- UVランプを組み込んだ空調システムによる感染症予防など健康への取組みを推進



大空間向け

- 既存の空調設備に後から容易に設置することができる除菌システム

6. 製販一貫体制とユーザーと直結した研究開発

- 研究開発から設計、製造、メンテナンスまで一貫した体制で対応することにより最適な空調空間の創出を実現
- 研究開発施設「SINKOテクニカルセンター」が2009年に完成。新技術創出・新製品開発力を飛躍的に向上

研究開発からメンテナンスまで一貫システムで対応



研究開発体制 SINKOテクニカルセンター

- AMCA規格に基づいた送風機性能試験装置をはじめ、これからの空調機器研究に必要な各種最新設備を導入
- 2017年からはダイキン工業株式会社との共同開発もスタート



SINKOテクニカルセンター概観



コンセプト



プレゼンテーションルーム

空調機実験エリア

7. 体験型施設の完備～SINKO AIR DESIGN STUDIO (エアスタ)

- 2020年にSINKO AIR DESIGN STUDIOを大阪・寝屋川市にOPEN
- 誰もが気軽に利用できる「体感型ショールーム」として空調の魅力幅広く一般に紹介

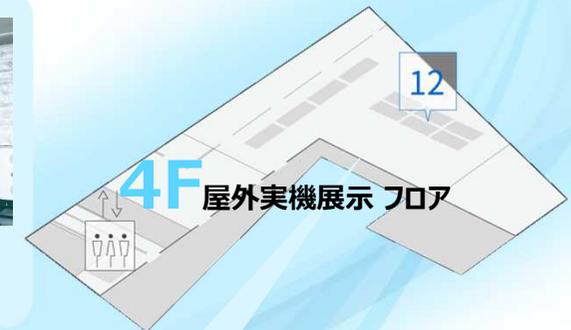
SINKO AIR DESIGN STUDIO (エアスタ)



Air Lab.
空調に関する講演会やイベント開催



Air Experience
天井昇降式の体感ルームで
様々な空気質を実際に体感



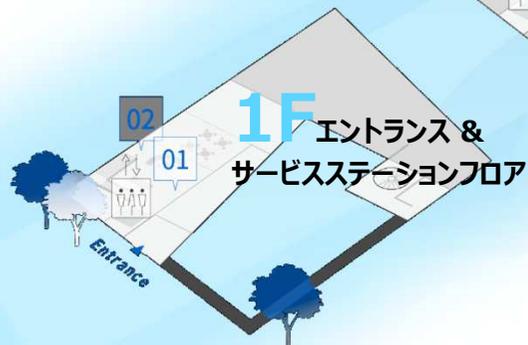
稼働製品ゾーン (屋外)
各フロアに使用されている空調機
及び熱源機器等が設置



Welcome Theater
H3m×W11mのラウンド型
巨大スクリーン

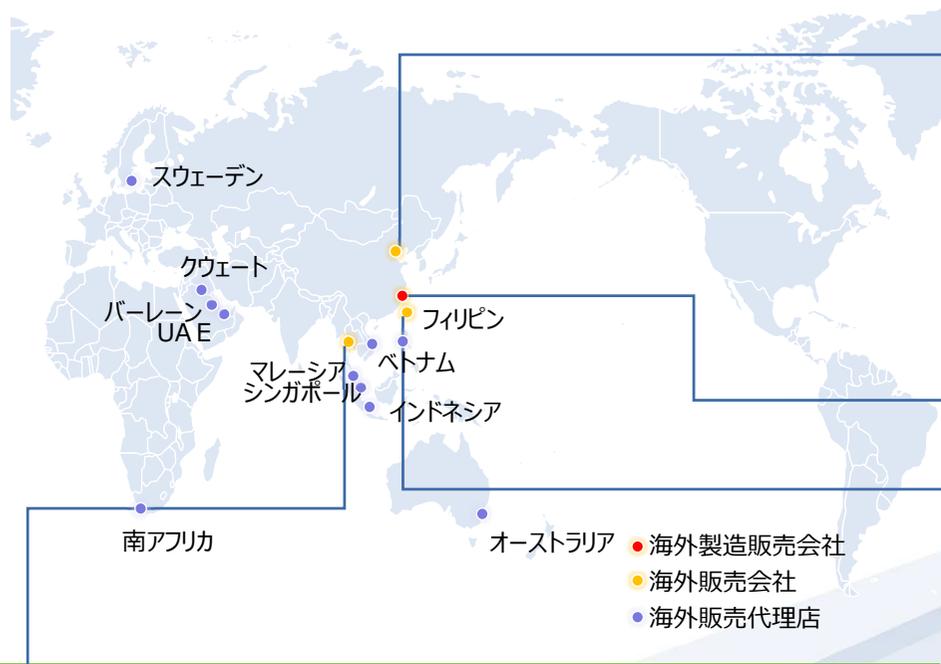


パーソナル空調
デスク上に個別の吹き出し口を設け
自分好みの空気環境を構築



8. 海外展開

- 1987年5月に上海に合併会社を設立以来、中国・台湾・タイに展開
- アジア拠点以外において、欧州、中東、アフリカ、その他のアジアに代理店で世界各国の需要に対応



中国

上海新晃空調設備股份有限公司

- 中国大陸における設計・生産・販売の拠点（連結子会社）



SINKO Air Conditioning (H.K.) Limited

- 香港における販売拠点（持分法会社）

タイ

SINKO Air Conditioning (Thailand) Co.,Ltd.



- タイにおける設計・生産・販売の拠点（持分法会社）

台湾

Taiwan SINKO Kogyo Co.,Ltd.

- 台湾における設計・生産・販売の拠点（持分法会社）



9. 国内・主要納入実績

■ 2020年にかけて、新国立競技場などオリンピック関連大型施設にも幅広く納入



大阪駅周辺・グランフロント大阪



あべのハルカス



梅田阪急百貨店



大阪ドーム



中部国際空港セントレア



名古屋ドーム



六本木ヒルズ



丸の内ビル



東京スカイツリー



東京駅



東京ミッドタウン

10. 海外・主要納入実績



ラッフルズホテル (シンガポール)



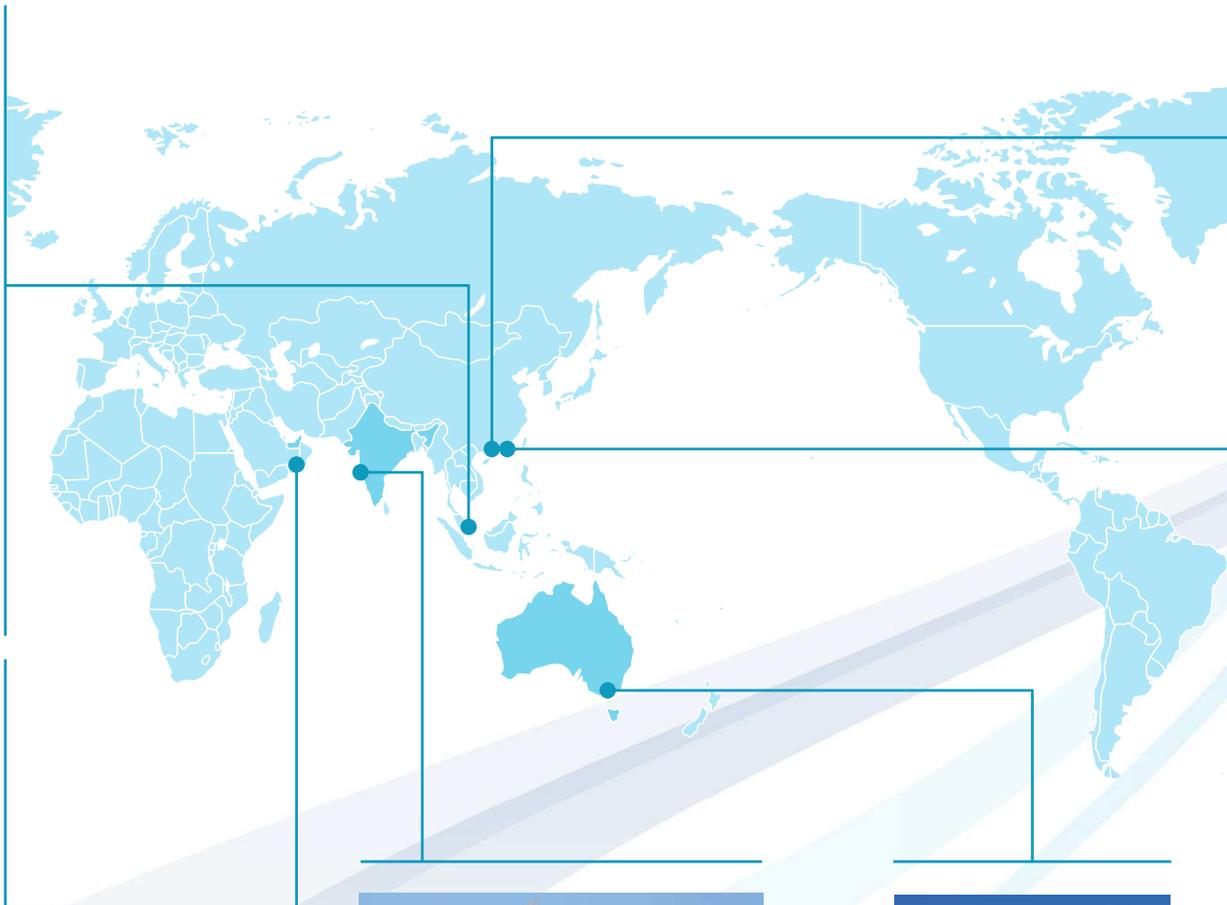
マリーナ ベイ サンズ
(シンガポール)



ドバイ市街地



メディナ ジュメイラ (ドバイ)



ザ・ベネチアン・マカオ (マカオ)



ペニンシュラホテル (ホンコン)



タージマハルホテル (ムンバイ)



クラウンカジノ (メルボルン)

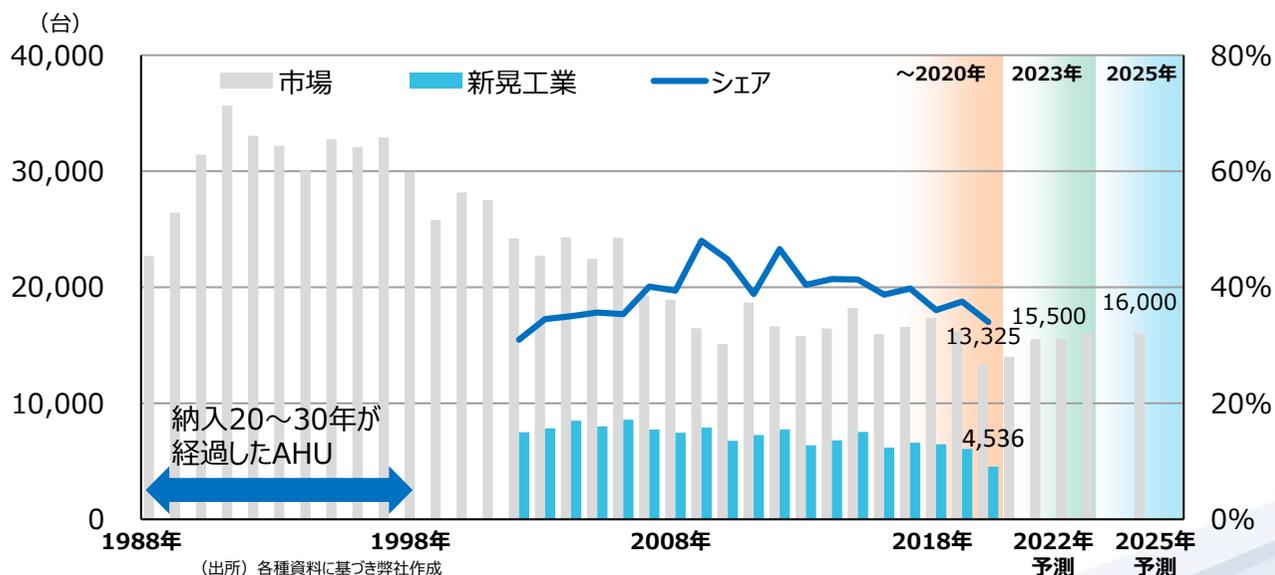
Ⅲ. 中期経営計画「move.2025」 (2021年4月~2025年3月)



1. 事業環境認識

■ AHU国内市場は2025年以降はメンテナンス需要が堅調

AHU国内市場展望



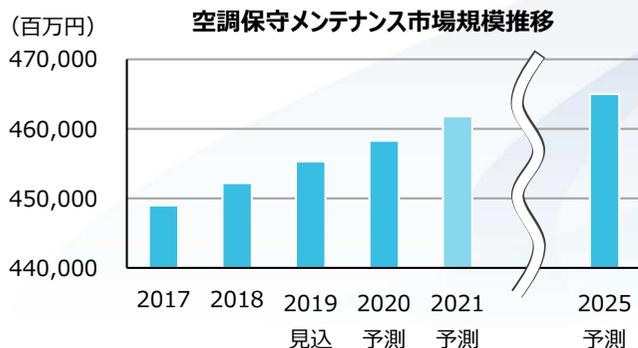
オリンピック後 ~2021年度
 オリンピックによるピーク後の需要端境期
 コロナ影響による短期的な更新物件の落ち込み

都市圏の大型再開発 2023年頃
 東京、大阪を中心とした大型新築案件
 (15,500~16,000台)

ストックビジネス中心へ移行 2025年頃
 納入後20年以上の更新案件が主体へ

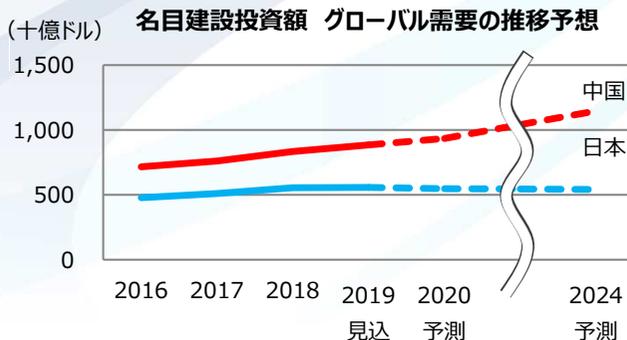
アフターサービス市場拡大

- 2025年頃に新築は減少するが、ストック増大によりアフターサービス市場は拡大
- 作業員不足で、現場省力化が進展



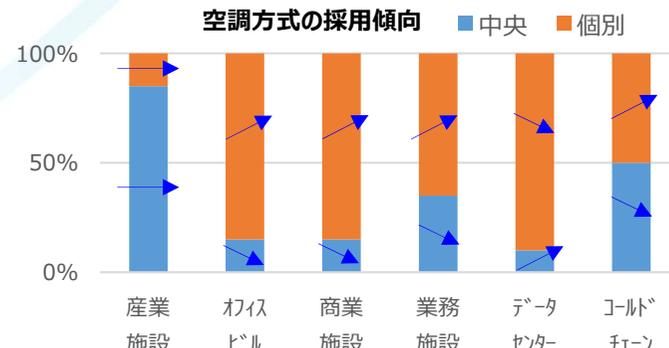
中国建設市場の成長

- 米中貿易摩擦による景気の冷え込み、過剰債務問題は懸念も政府の財政支出拡大策としてインフラ投資再度増の動き



中央熱源減/個別熱源増

- カーボンニュートラルに伴う中央熱源への回帰（脱フロン）も見据えるが、当面は中規模物件を中心に個別熱源の増加が続く



2. 中期経営計画「move.2025」の全体像

目指す姿

中期目標 **連結売上高520億円 連結営業利益75億円**

中長期の土台構築 **業務のデジタル化による労働集約的な生産体制からの脱却
AHUシェアNo.1堅持 HP-AHUシェアNo.1奪取
ESG経営の推進による、社会課題解決への貢献**

SIMAを軸にした新しい製販体制（SIMA : SINKO Innovative Manufacturing of AHU）

製造

BOM（製品データベース）を中心とした
デジタル設計・生産体制の構築
=新・デジタル工場の構築



需要予測の精度向上とインパクト営業の確立
=新・営業スタイルの確立

販売

水AHU強化

基盤事業の圧倒的な
競争優位の維持・向上

ヒートポンプAHU強化

オクージオブランドによる
市場シェア拡大

工事事業強化

AHU中心から
空調工事業への拡張

中国事業強化

市場戦略の見直しと
利益体質の構築

技術深耕・品質向上

「SINKO WAY」の浸透

人財育成

新・ショールームの有効活用
（通称エアスタ*）

M&Aによるグループ強化

*エアスタ=SINKO AIR DESIGN STUDIO

ESG経営の推進 / SDGsへの貢献

製品を通じた環境負荷低減/ エネルギー資源の有効活用・省エネへの対応/ 人財育成/
すべての人が安全で働きやすい職場の確保/ 地域社会の発展・社会貢献活動/ ガバナンスの強化

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

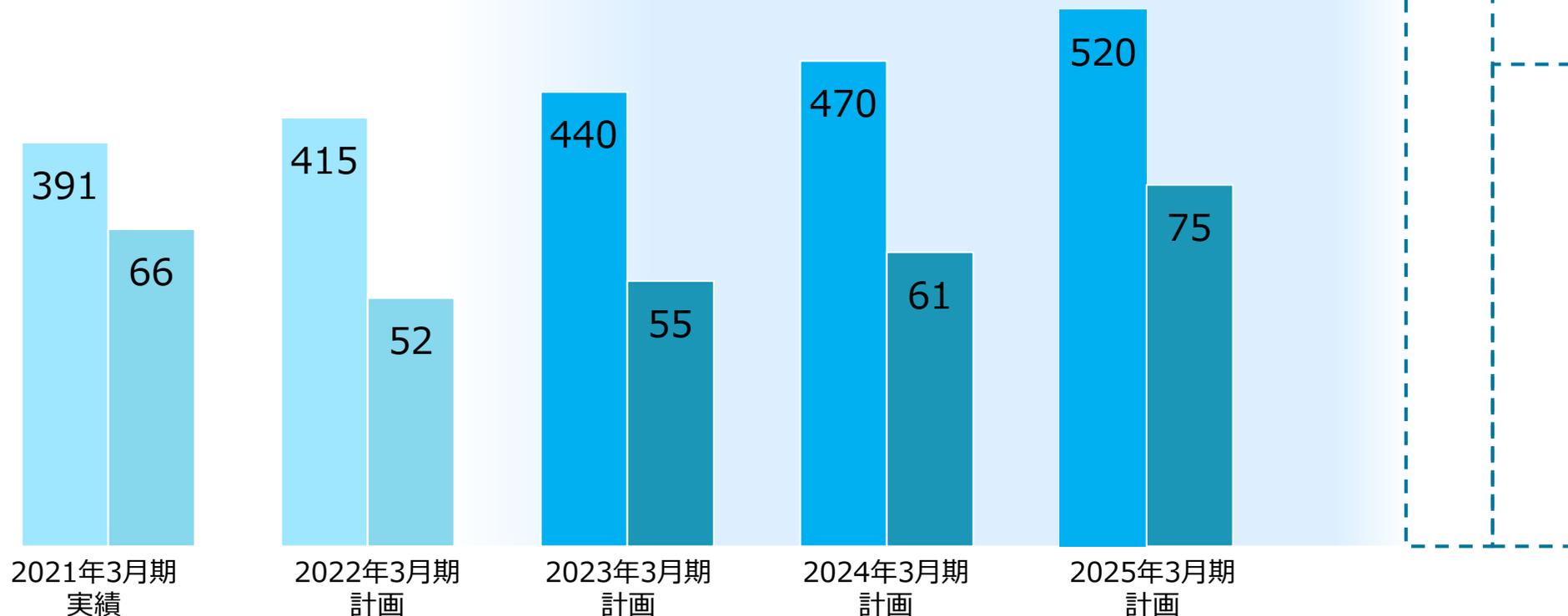
3. 中期経営計画「move.2025」の目指す姿～連結業績目標

中期目標（2024年度）		中長期の土台構築
連結売上高	520億円	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 業務のデジタル化による労働集約的な生産体制からの脱却 ➤ AHUシェアNo.1堅持 HP-AHUシェアNo.1奪取 ➤ ESG経営の推進による、社会課題解決への貢献
連結営業利益	75億円	



■ 売上高 ■ 営業利益

(単位：億円)



4. 中期経営計画「move.2025」

①

SIMAを軸にした新しい製販体制

(**SIMA** : **S**INKO **I**nnovative **M**anufacturing of **A**HU=革新的な空調機生産方式)

②

重点取組項目

③

ESG経営の推進 / SDGsへの貢献

4. 中期経営計画「move.2025」

①SIMAを軸にした新しい製販体制

- 2020年4月以降の製販統合による生産性向上に着手、SIMA構想を立ち上げ
- 販売～製造のデータ一気通貫による、営業・設計・積算・製造業務を再定義、更なる事業基盤強化を目指す
- 20億円規模の投資を実施

BOMを中心としたデジタル設計・生産体制の構築

製造

<取組み>

- デジタル化：モノ・作業情報のデータ化・BOM拡充
- 設計削減：製品モジュール化、3D対応製品拡張
- 積算削減：材料費、労務費（AI）積算自動化
- 生産削減：計画自動化、3D組立指示、ライン生産

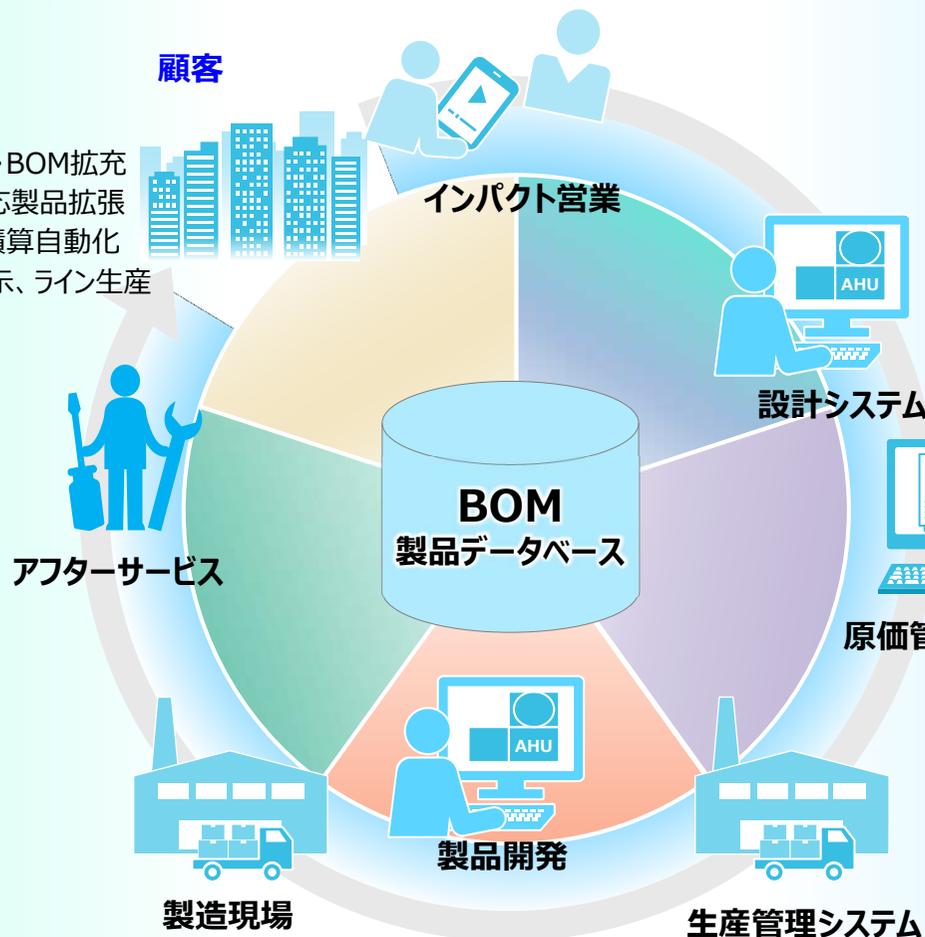
<目指す成果>

- 各システムの構築、設計・製造・販売の連携基盤の確立
- 労働集約モデルから脱却した新・デジタル工場の構築

新・デジタル工場の構築



SIMA概念



需要予測の精度向上とインパクト営業の確立

販売

<取組み>

- 高精度の需要予測に基づく受注計画
- 営業手法・プロセスの体系化
- 図面・見積・納期のリアルタイム回答
デジタル活用の新しい営業スタイル

<目指す成果>

- AHU販売における圧倒的な競争優位の維持・向上
- アフターコロナにおける新・営業スタイルの確立

新・営業スタイルの確立



4. 中期経営計画「move.2025」

①SIMAを軸にした新しい製販体制 「ライン生産方式」の導入

- 需要予測の精度向上とインパクト営業の確立、情報の一気通貫による生産効率の向上などSIMAプロジェクトの効果をフル活用することで個別受注対応と生産効率を両立し、基盤事業の圧倒的な競争優位の維持・向上を目指す

「SIMA プロジェクト ライン生産方式」本格稼働

- 2021年1月より「SIMA プロジェクト」の第1フェーズ「ライン生産方式」を、神奈川工場にて本格稼働。個別生産に対応するため「混合ライン生産方式」を採用、小さな製品から大きな製品まで、同一ライン上での生産を可能に

組立

製品検査

自動搬送



ライン生産の様子

作業項目

9 割削減

組立効率

30%up



無人搬送車AGV

各作業工程の習熟度が向上、品質の安定化を実現

さらなるデジタル工場化を進展

AI による工数予測が可能な新生産計画システム

3 DCADを利用した新設計システムの構築

4. 中期経営計画「move.2025」

①

SIMAを軸にした新しい製販体制

②

重点取組項目

③

ESG経営の推進 / SDGsへの貢献

②重点取組項目

重点実施項目

1

水AHU強化



基盤事業の圧倒的な競争優位の維持・向上

SIMAのフル活用

データセンター分野の深耕

2

ヒートポンプAHU強化



オクージオブランドによる市場シェア拡大

売上50億円

HP-AHUライン拡充

3

工事事業強化



AHU中心から空調工事業への拡張

売上100億円

冷媒メンテナンス体制構築

4

中国事業強化



市場戦略の見直しと利益体質の構築

黒字化を持続する体制構築

技術支援の強化

5

技術深耕・品質向上

技術開発の推進と品質大綱の落とし込み

省力化技術の深耕
(AI実用化)

クレームゼロ

「SINKO WAY」の浸透

通称エアスタを活用したブランディング

期待人財創出プロジェクトによる底上げ

M&Aによるグループ強化

4. 中期経営計画「move.2025」②重点取組項目

(1) 水AHU強化～データセンター市場へのAHU注力

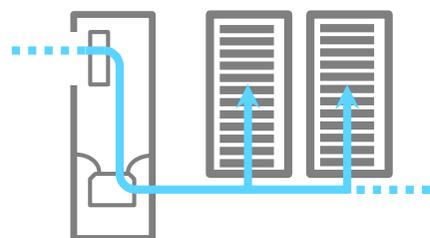
- 今後データセンターへの投資の活発化を予測し、AI技術、IoT、ビッグデータの利用が加速する中で増加するデータセンターのサーバーの安定運用を支えるサーバーエアハン、サーバーウォールを多彩なラインアップで対応
- サーバー高性能化に伴う1台当り発熱量の増加から大容量で性能の高い空調機器へのニーズ拡大、AHUの成長分野として注力

サーバーエアハンシリーズ

サーバーエアハン

DE-D型 DE-E型

アンダーフロアを利用し、床面に設置したグレーチングを通じて室内に冷気を供給

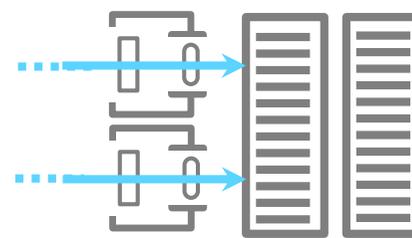


ダウンブロー

サーバーウォール

DE-MW型

間仕切り壁を介して室内に冷気を供給。比較的小さなサーバールームから対応可能



ウォールブロー

4. 中期経営計画「move.2025」②重点取組項目

(2) ヒートポンプAHU強化

- 感染症の拡大による換気の重要性が再認識、冬期の加湿不足という慢性的な課題に対し、安定した湿度コントロールを行う大風量・大容量タイプのHP-AHUの要望は根強く存在
- 配管工事、試運転調整不要の一体型による省スペース型の商品「オクージオブランド」の展開によるシェア拡大と市場支配力強化

室外機一体型ヒートポンプ空調機／オクージオ

- 空調機本体と室外機をセットにした、短工期、施工費削減、メンテ性向上のオールインワンタイプのヒートポンプ空調機『オクージオ®』を、2021年3月従来機よりさらにサイズをスリム化し、モデルチェンジ



短工期・施工費

- 空調機本体と室外機を一体化、試運転調整済で納品するため、現地での作業は設置と電気設備工事のみ。大幅な工期短縮と施工費用の削減を実現

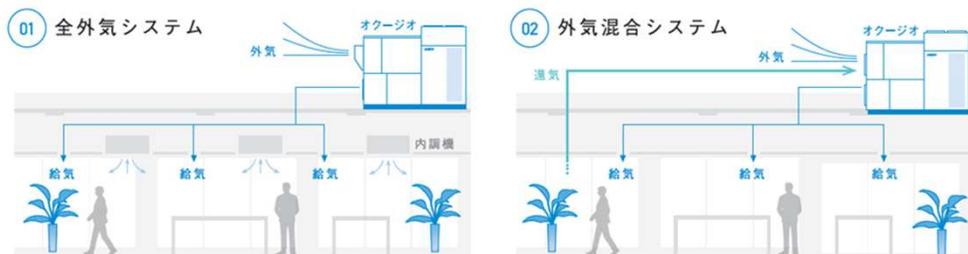
省スペース・メンテナンス性向上

- 室外機一体型でコンパクトなうえ、屋外設置型のため機械室が不要。居室や機械室に入ることなく、屋外1カ所だけでメンテナンス作業が可能

多彩なオプションと運転制御

- 十分な外気処理能力があり、新鮮外気導入量アップに貢献
- 全外気システムと外気混合システムに加え、8～18馬力まで対応可能
- ワイヤードリモコンによる簡単操作や遠方信号との組合せ操作も対応可能

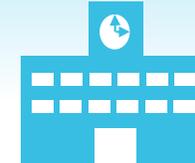
選べる2つのタイプ



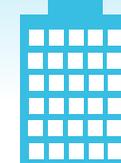
今後の拡大が見込まれる市場



生産工場



学校



中規模ビル

4. 中期経営計画「move.2025」②重点取組項目

(3) 工事事業強化

- AHU中心からの脱却・空調工事業への拡張を図る（中核は新晃アトモス）
- 空調機器の省エネ性や快適性の維持・向上、耐用年数の延長、故障の予防など保守ニーズは確実に存在し市場は拡大、メーカーの強み・独自性を生かした空調工事・サービス体制の充実を図る



4. 中期経営計画「move.2025」②重点取組項目

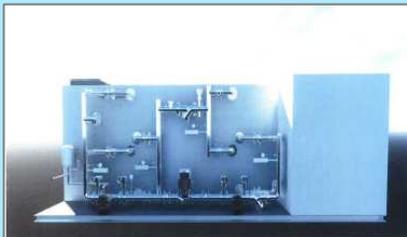
(4) 中国事業強化

- 計画段階から高機能型AHUを提案することにより価格競争を回避し、採算性重視の販売戦略を徹底することで収益改善進展
- 製造業や社会インフラへ向けた採算性重視の販売戦略と原価管理を徹底、継続的に利益を確保できる体制構築を進展

高性能空調機シフトの実例

- 配管等を空調機内に組み込んだ高性能空調機の導入により、メンテナンススペースを確保した空間設定を実現
- 現場工程の短縮による施工費削減・安全性に貢献

高性能空調機



展示会場の2期工事納入事例

- 通常の空調機
(配管などは現場施工)
- 空調機の間隔がギリギリ



Before



2期工事

After

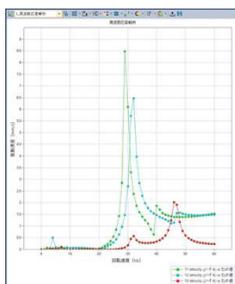
- 高性能空調機
(配管などを空調機内に組み込み)
- メンテナンス用スペースを確保できた

4. 中期経営計画「move.2025」②重点取組項目

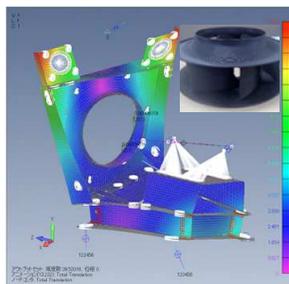
(5) 技術深耕・品質向上～省エネ基幹部品

- AHUの主要構成基幹部品である熱交換コイル、ファンを新たに開発、高効率による省エネに寄与

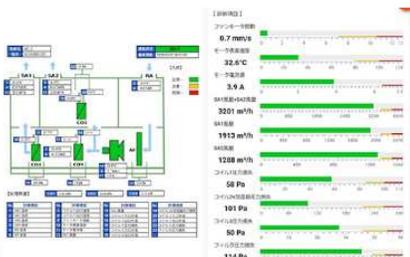
省エネ開発研究インフラ構築



振動解析



3Dプリンタ導入



IoT活用

コンパクト型空調機用熱交換コイル (WTS型)

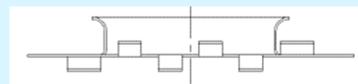
- 高伝熱効率のコイル開発によるコイル列数やフィン枚数を削減、原材料や加工工数を削減



- フィン形状を中心に開発：伝熱を「水側」と「空気側」に分けると、水側はほぼ飽和。空気側への伝熱特性としてフィン形状、フィン面積、主管径、管ピッチを検討、スリット形状の見直しによる効率化を実現

- ①スリット表裏構造の変更 ②スリット本数増/主管に沿ったスリット配置

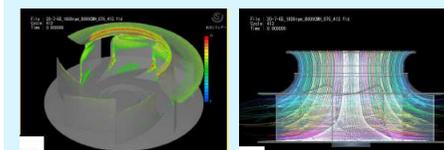
断面図



コンパクト型空調機用プラグファン (PS型)

- 流体シミュレーション(CFD)を活用し、送風機の各部材を最適設定
- 三次元湾曲の単板翼採用とインレットコーン小型化により静圧効率74%(※)を実現 (※来比15%UP)

- 新型PS型プラグファン：ファンの性能向上を目指し、ブレード(単板7枚羽根)を中心に開発



乱流エネルギー

流線

4. 中期経営計画「move.2025」

①

SIMAを軸にした新しい製販体制

②

重点取組項目

③

ESG経営の推進 / SDGsへの貢献

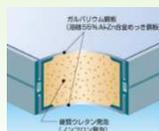
4. 中期経営計画「move.2025」

③ ESG経営の推進 / SDGsへの貢献

環境 (Environment)

製品を通じた環境負荷低減 / エネルギー資源の有効活用・省エネへの対応

環境負荷軽減・CO₂削減 (塗装・溶接レス、省力化)



省エネルギー・環境技術対策



社会 (Social)

空調による社会貢献 (抗菌・抗ウイルス、熱中症対策)



ほか、働き方改革、人材育成、地域社会貢献など

ガバナンス (Governance)

リスク管理の強化、コンプライアンスの徹底

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4. 中期経営計画「move.2025」③ESG経営の推進 / SDGsへの貢献

(1) Environment～省エネルギー・環境技術対策

■ 地球環境・地域環境保全活動を事業経営の最重要課題として位置づけ、積極的に推進

ISOへの取り組み

環境性能と高品質を両立した製品づくりを実践



1998年：ISO9001取得
(品質保証の国際規格)



2006年：ISO14001取得
(環境マネジメントシステムの国際規格)

省エネ・環境対策を目指したものづくり



- コイルサイズを定型化する事により、生産性向上
- 現場配管を削減できるタイプをラインアップ、銅管 + 断熱材など現地使用材料を低減

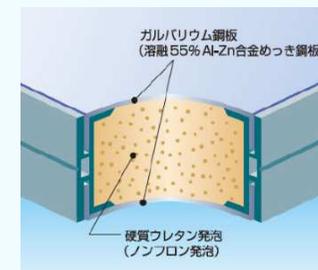
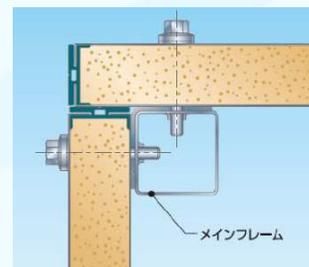


- 伝熱効率が高いコイル開発によるコイル列数やフィン枚数を削減、原材料や加工工数を削減

「設計-製造-使用-廃棄」のサイクルを見通した環境対策

	エネルギー バランス	原材料 バランス	廃棄物 バランス
開発・設計	機器動力の低減 長寿命製品の開発	環境を考えた 材料の採用	つくりやすく リサイクルしやすい 構造の追及
製造	省エネルギー での製造	リサイクル原料取込 端材の再生	環境負荷の低減 塗料削減 有機系ガス削減
使用	ランニングエネルギー の削減	リサイクル材へ容易な転換	
廃棄		容易な分解解体	廃棄物の減容

環境対策の実際例



- ステンレスメインフレーム及び外装パネルのガルバリウム鋼板により塗装箇所を大幅に減少
- 地球温暖化を招くフロンガスは使用せず、ノンフロン硬質発泡ウレタンフォームを使用

(2) Social～空調メーカーとしての環境構築①健康空調

- 感染症予防など健康への取組みを推進、強力な紫外線を組み込んだ空調システムでウイルス・細菌の分解・除去を行い、医療福祉施設をはじめ、多くの人が集まる空間に対して安心・安全の空気環境を提供

健康空調

- UVCランプ導入による健康空調®
 - 紫外線による細胞機能に作用して殺菌する薬剤と異なるメカニズムを利用、強力なUVCランプを空調機内に組み込む
 - 空調調和機を1回通過した際のウイルスの除去率は87%
 - 従来のUVCランプ搭載AHUに加え、UVCランプ搭載FCUを順次リリース

健康空調を利用した空調システム



(2) Social～空調メーカーとしての環境構築②大空間向け除菌システム

- 大空間向け除菌システムとして既存の空調設備に付設する空調専用噴霧ユニットの販売を5社共同で5月より開始

大空間向け除菌システム概要

- 既存の空調設備に後から容易に設置することができる除菌システム。空調ダクトを介して極めて微細なクロラス酸水のミストを大空間に行き渡らせ、保湿させることで除菌効果を発揮

空間除菌

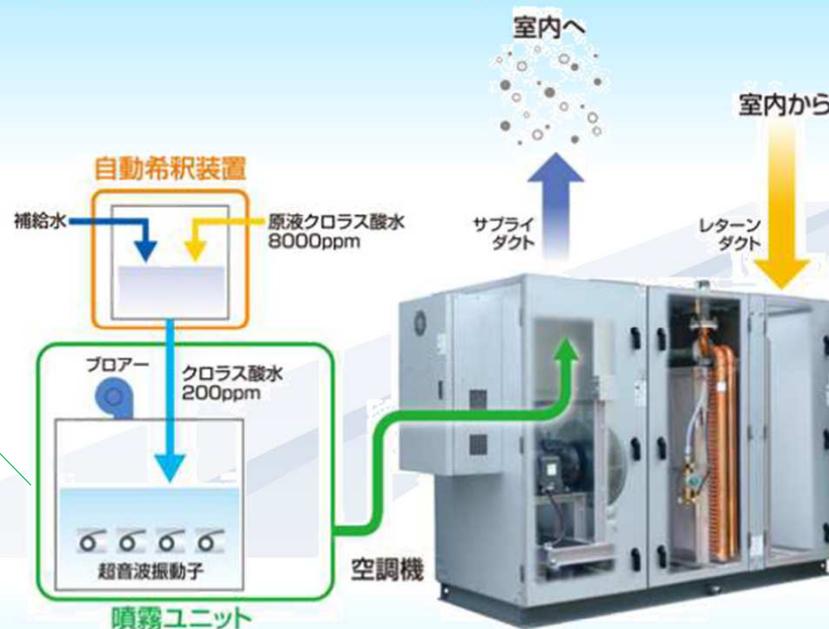
東洋熱工業株式会社

NSF ENGAGEMENT

HIROSAWA
広沢電機工業株式会社



空調専用噴霧ユニット
「DVAC-4000」

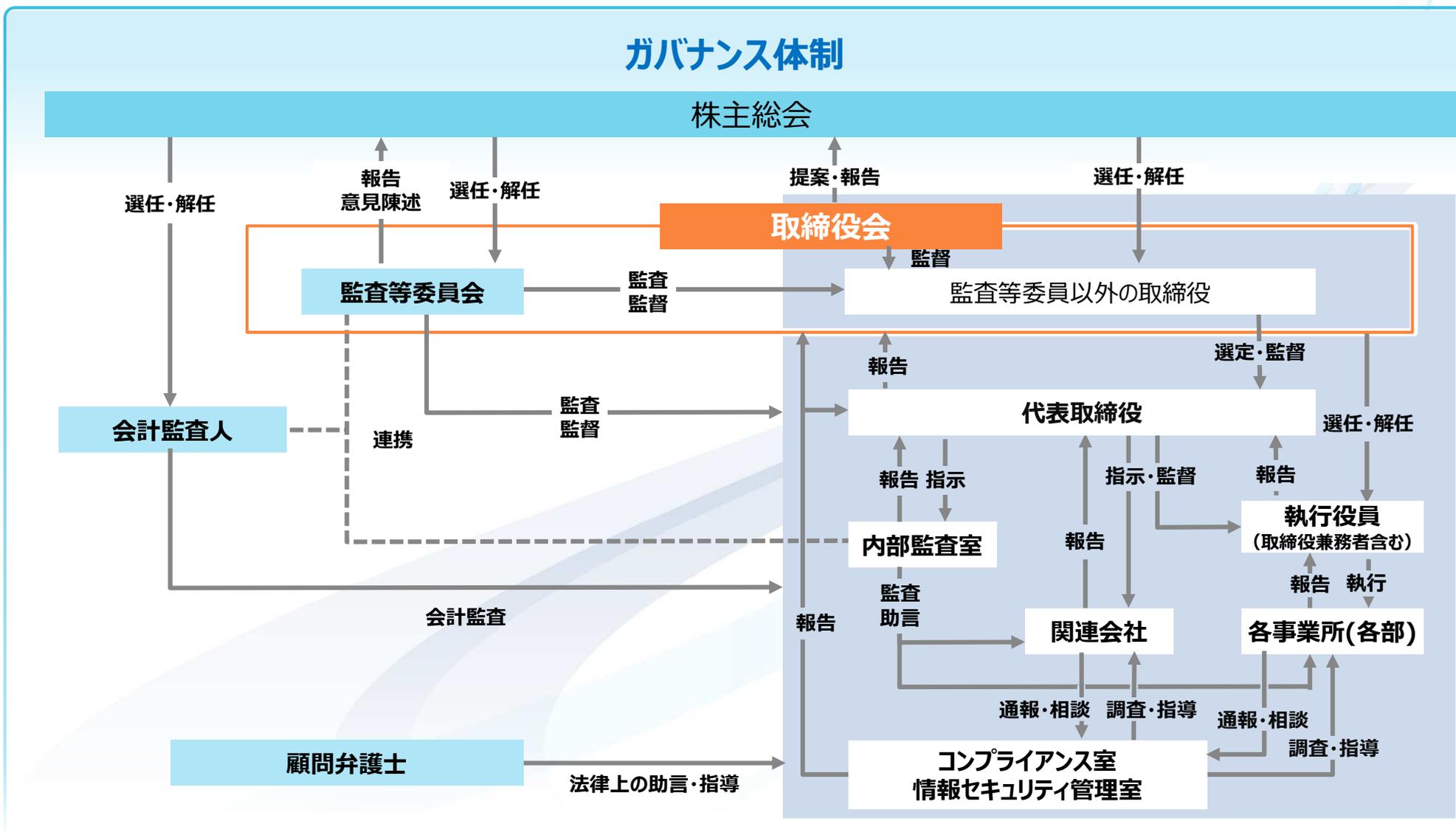


- 実用空間において一定の広さの空間に一定の粒子数のミストを一定時間維持することが可能。
- 空調ダクトを介して0.3～0.5μm 径の極めて微細なミストを大空間に行き渡らせ、ブラウン運動で長く滞留することで効果が持続
- 1台で床面積約750m²（天井高：約3.5mの場合）の大空間をカバー
- 既存の空調設備と連動、またはタイマーによる自動運転制御が可能
- クロラス酸水の自動希釈装置を内蔵することで、補充の手間を軽減

SINKO
新晃工業株式会社

(3) Governance ~コーポレート・ガバナンス

- 経営の透明性を確保、コーポレートガバナンス強化に向け必要な体制整備を推進
- 取締役13名中、独立社外取締役を5名設置



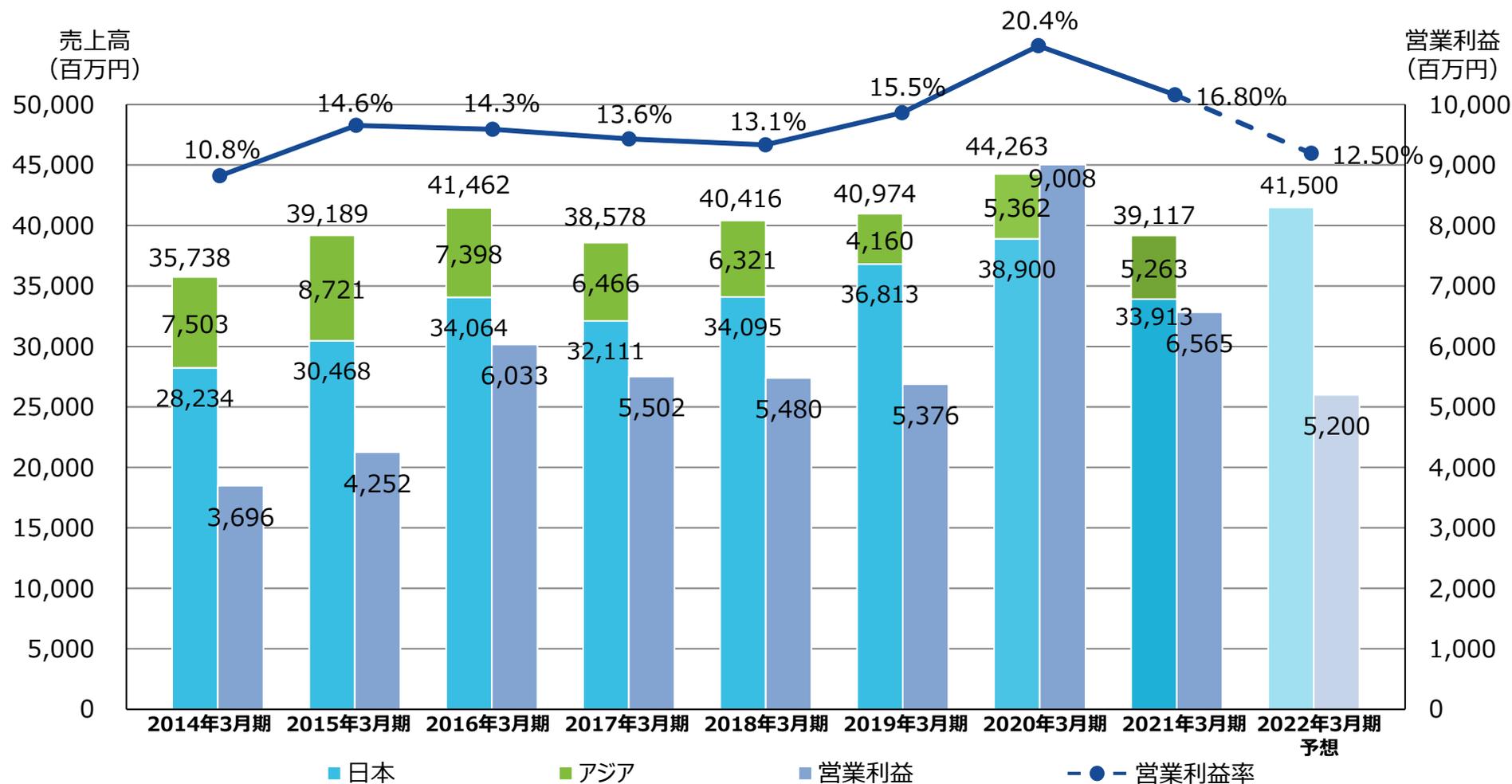
Appendix. 2021年3月期決算概要



1. 連結業績推移

- 2014年3月期以降国内建設市場拡大を背景に増収・増益基調が継続、2020年3月期は創業来最高売上・最高益を計上
- 2021年3月期は需要の端境期に入ったことに加え、感染症拡大の影響から宿泊施設や店舗などの着工が大きく減少し減収減益

連結売上高および営業利益の推移



2. 2021年3月期決算実績

① 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

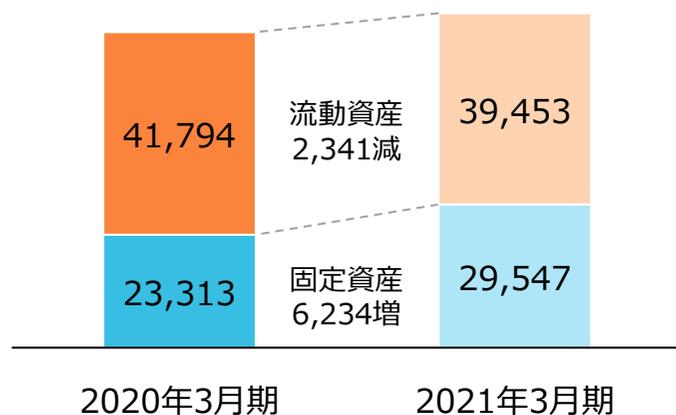
	実績					
	2020年3月期		2021年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額	増減率
売上高	44,263	100.0	39,177	100.0	△5,086	△11.5
日本	38,900	87.9	33,913	86.6	△4,987	△12.8
アジア	5,362	12.1	5,263	13.4	△99	△1.8
営業利益	9,008	20.4	6,565	16.8	△2,443	△27.1
経常利益	9,526	21.5	6,997	17.9	△2,529	△26.5
親会社株主に 帰属する純利益	5,996	13.5	5,021	12.8	△975	△16.3
1株当たり 当期純利益	230.06		194.25			

2. 2021年3月期決算実績

② 連結貸借対照表

資産

(単位：百万円)

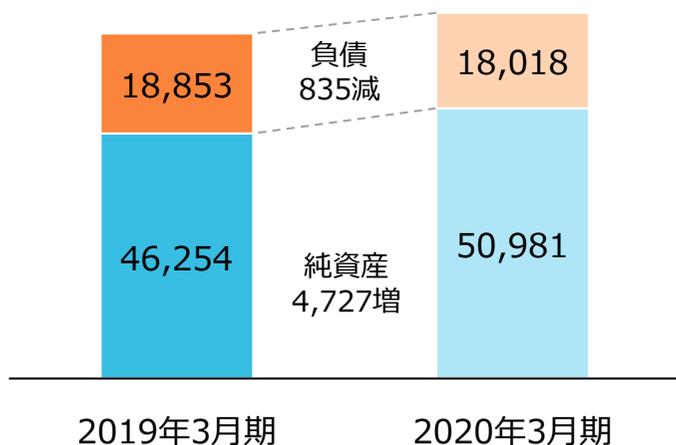


(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額
流動資産	41,794	39,453	△2,341
現金及び預金	17,447	13,985	△3,462
受取手形及び売掛金	20,420	18,779	△1,641
たな卸資産	1,283	2,033	750
固定資産	23,313	29,547	6,234
有形固定資産	12,602	16,123	3,521
無形固定資産	913	828	△85
資産合計	65,108	69,000	3,892

負債／純資産

(単位：百万円)



	2020年3月期	2021年3月期	増減額
負債合計	18,853	18,018	△835
(有利子負債残高)	1,937	4,108	2,171
純資産合計	46,254	50,981	4,727

(単位：%)

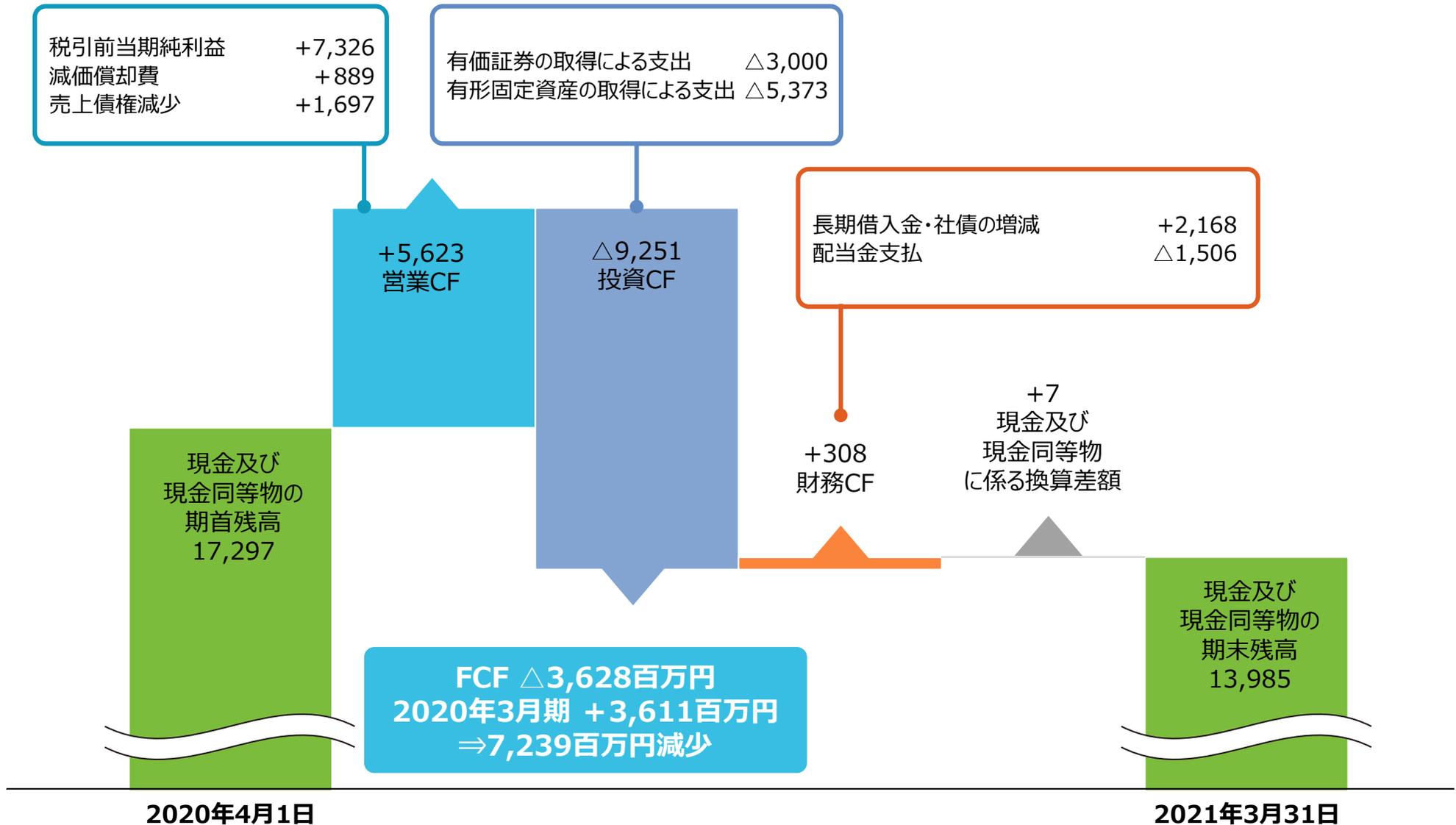
	2020年3月期	2021年3月期	増減額
自己資本比率	67.9	70.9	3.0

2. 2021年3月期決算実績

③ 連結キャッシュフロー計算書

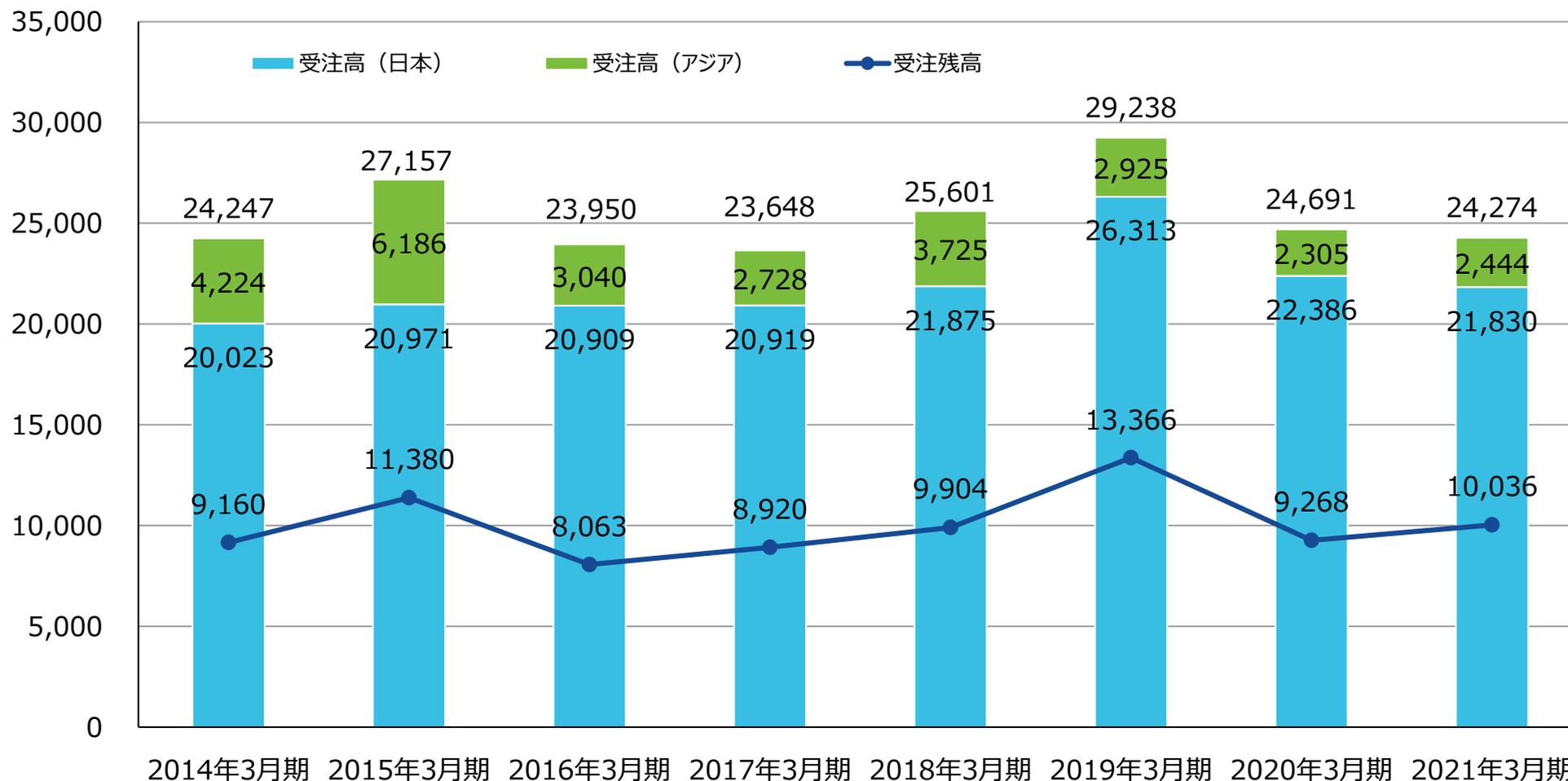
■ フリー・キャッシュフローは2020年3月期の36.1億円から△36,3億円に減少（△72.4億円）

（単位：百万円）



3. 受注高・受注残高の推移

(単位：百万円)



4. 2022年3月期売上高・営業利益・経常利益・純利益（予想）

2022年
3月期
予想

連結売上高
41,500百万円
(前期比 +5.9%)

- 国内は需要端境期の影響で競争激化も、HP-AHU分野の拡大、メンテナンス拡充を背景に増収
- 海外は高機能型空調機の提案を軸にした受注拡大により増収

営業利益
5,200百万円
(前期比 △20.8%)

- 価格競争の影響、製販新体制の構築に20億円投下、償却負担の拡大により減益
- 海外は受注増加、採算性重視の販売戦略が進み、黒字化

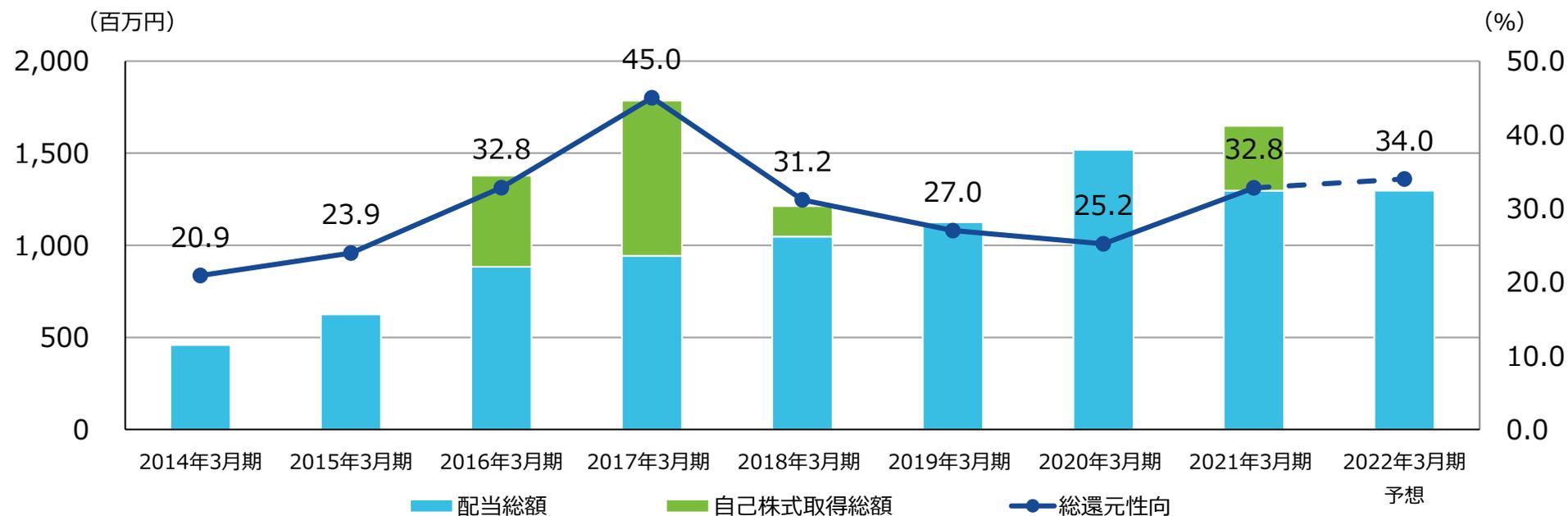
(単位：百万円、%)

	2021年3月期		2022年3月期（通期）（予想）					
	金額	構成比	2021年3月期2Q			金額	構成比	増減率
			金額	構成比	増減率			
売上高	39,177	100.0	17,800	42.9	13.4	41,500	100	5.9
営業利益	6,565	16.8	1,600	3.9	△15.2	5,200	12.5	△20.8
経常利益	6,997	17.9	1,800	4.3	△16.3	5,600	13.5	△20.0
親会社に 帰属する 当期純利益	5,021	12.8	1,200	2.9	△30.6	3,800	9.2	△24.3

5. 株主還元

総還元性向推移

■ 業績に連動した継続的な株主還元を着実に実施。2022年3月期は一株あたり50円配当を予想



株主優待

	保有株式数	優待内容
1年未満保有	100株以上	図書カード 1,000円相当分
1年以上継続保有	100株以上1,000株未満	カタログギフト3,000円相当
	1,000株以上	カタログギフト5,000円相当

ご清聴ありがとうございます

IRに関するお問い合わせ先

新晃工業株式会社

経営企画室 企画・関連事業部 片井、斉藤

電話 : 03-5640-4169

e-mail : katai@sinko.co.jp, yo-saito@sinko.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

証券コード : 6458 (東証 1部)